

学校給食費への市町村独自補助・減免措置

(2025年愛知自治体キャラバンまとめ)

- ①完全無償化は、大府市(2026年度予定)・大口町が新たに加わり、7市町村(13%)。
 ②半額補助は、豊橋市・津島市・設楽町・東栄町に加え、田原市が新たに実施、稲沢市は小学生半額。
 ③4学年無償化(小1・小2・小6・中3)と第3子以降全員無償化したのが犬山市。
 ④3学年無償化(中学生)しているのは、愛西市。
 ⑤第3子以降全員無償は犬山市(再掲)と小牧市。条件付きの第3子無償化が常滑市・岩倉市・扶桑町・美浜町。
 ⑥食材料費高騰分を単費で公費負担し今後も引き続き実施としている市町村が増加。豊明市は100円以上を補助。
 ⑦なんらかの補助をおこなっている自治体は前年から6市町村増加し37市町村(69%)に拡大。 ※■は未実施市町村

市町村名	完全無償	半額補助	複数学年	その他	市町村単費による期限の定めのない独自補助・減免措置の実施内容
合計	7	6	2	22	
1 名古屋市					
2 豊橋市		○			半額軽減
3 岡崎市				○	4月分を無償化
4 一宮市					
5 瀬戸市					
6 半田市					
7 春日井市					
8 豊川市				○	1食あたり小学校70円、中学校80円(食材費の高騰分)を公費負担
9 津島市		○			半額補助
10 碧南市				○	1食あたり小学校46.5円、中学校66.3円(給食費以上の賄材料費分)を公費負担
11 刈谷市				○	食材費の高騰分を公費負担
12 豊田市	○				2024年4月から市立学校に通う小中学生の学校給食費を無償化
13 安城市	○				2023年9月から小中学校給食費を無償化
14 西尾市					
15 蒲郡市				○	1食あたり25円(給食費改定分)を市費補助
16 犬山市			○		第3子以降及び、小学校1年生・2年生・6年生・中学3年生を無償化
17 常滑市				○	中学生以下第3子以降を無償化
18 江南市					
19 小牧市				○	第3子以降を無償化、2人以上子どものいる家庭の第2子中学生を無償化
20 稲沢市		○			小学生半額補助
21 新城市					
22 東海市				○	1食あたり小学校60円、中学校70円を公費負担
23 大府市	○				2024年1月から全中学生を無償化、小学校は1食あたり90円を公費負担(2026年度から無償化予定)
24 知多市				○	1食あたり小学校20円、中学校25円(食材費の高騰分)を公費負担
25 知立市					
26 尾張旭市					
27 高浜市					
28 岩倉市				○	小学校就学後から18歳年度末までの第3子以降を無償化
29 豊明市				○	1食あたり小学校110円、中学校120円の補助
30 日進市				○	地産地消補助3円、2025年4月から定額制導入により給食基準日数を減らし保護者の負担軽減
31 田原市		○			2025年4月から半額補助
32 愛西市			○		2024年4月から中学生を無償化、小学生は引き続き1食あたり10円を補助
33 清須市					
34 北名古屋市					
35 弥富市					
36 みよし市	○				2024年1月から小中学校給食費を無償化
37 あま市				○	1食あたり10円を公費負担
38 長久手市				○	市負担1食あたり20円+地産地消推進市負担1円(保護者負担額と別途)
39 東郷町				○	2019年10月から1食あたり20円値上げした分を公費負担、2020年4月から給食費の定額制を導入し実食数計算の給食費と定額制の差額分を公費負担
40 豊山町					
41 大口町	○				2025年4月から小中学校給食費を無償化
42 扶桑町				○	中学生以下第3子以降を無償化、1食あたり小学校20円、中学校30円を公費負担
43 大治町				○	1月あたり200円を補助
44 蟹江町				○	1食あたり70円を公費負担
45 飛島村	○				2023年4月から飛島学園前期課程及び後期課程において給食費の無償化を実施
46 阿久比町				○	1食あたり20%相当を公費負担(食材費の高騰分)
47 東浦町					
48 南知多町				○	2025年度の給食費値上げ分を公費負担
49 美浜町				○	中学生以下第2子半額減免、第3子以降無償化
50 武豊町				○	1食あたり小学校50円、中学校60円(食材費の高騰分)を公費負担
51 幸田町					
52 設楽町		○			半額補助
53 東栄町		○			半額補助
54 豊根村	○				無償化